

# 訪問看護ステーション 連絡協議会だより

## 第18号

発行年月 2009年9月  
 発行所 岡山県訪問看護ステーション  
 連絡協議会  
 〒703-8251 岡山市中区竹田155-7  
 岡山訪問看護ステーション看護協会2階  
 TEL086-901-1375・FAX086-901-1376  
<http://okayama.houmonkango.net/>  
 E-mail okayama@space.ocn.ne.jp  
 発行責任者 若林 敏子

### 副会長就任のご挨拶

岡山市医師会理事 篠崎 洋一

平成21年6月23日に行われまして連絡協議会総会におきまして、副会長に就任しました。岡山市医師会の業務遂行と同様に、連絡協議会におきましても、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会は県下93ステーションが会員となり、組織団体として会員の質向上のため事業の充実発展に努力してまいります。副会長として会の発展のために職務に取り組みたいと考えています。

また、岡山市においては、岡山大学医学部と連携し、岡山総合医療センターを構築することを決定し、切れ目のない医療・

保健・福祉システムを構築しようとしています。これに伴って、的確な在宅診断が必要となり、訪問看護ステーションの重要性が益々拡大してきていますので、患者様・利用者様が自分らしく生活し生きて行けるようなシステム作りに取り組みたいと考えています。

次に、訪問看護師には総合的な知識や技術と判断力、家族や医師などの他職種との調整能力が求められています。そこで、ホスピス・高度医療等の研修実施に取り組みたいと考えています。

最後に、訪問看護ステーション連絡協議会が益々発展するように祈念して、副会長就任のご挨拶とさせていただきます。

### 新設のステーション紹介

#### 「児島中央訪問看護ステーション」

管理者 服部 南

目まぐるしく変わる医療・介護の現場で平成20年11月に看護師常勤7名、理学療法士常勤1名非常勤10名、作業療法士非常勤8名、言語聴覚士非常勤3名、事務職員常勤1名の総勢30名の大所帯の訪問看護ステーションとして開設しました。地域の特性、利用者様のニーズに合わせて、看護・リハビリのサービスを提供しております。

在宅療養を希望する利用者様へ「安心できるサービスの提供を」をモットーにスタッフ全員一丸となつて頑張っていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いたします。



### 平成21年度後期研修計画

日程・テーマ	講師	場所
9月19日 信頼関係をつくる コミュニケーションII ～訪問看護でコーチングを活かす～	有)SKYWARD 代表 寺崎光宣	倉敷中央病院 研修センター
10月3日 長崎県における 病院病診連携について	ホーム・ホスピス 中尾クリニック 院長 中尾 勤一郎	岡山シティ ホテル 厚生町
10月31日 認知症のひとの看護 ～レビー小体を中心に～	積善病院 精神科認定看護師 近藤秀樹	津山市総合 福祉会館
11月14日 浮腫療法 リンパマッサージを学び 看護ケアにいかす	済生会病院 リハビリテーション科 PT 中桐 三香	岡山県看護 研修センター
12月12日 呼吸管理 人工呼吸器の管理と 呼吸リハビリテーションを学ぶ	南岡山医療センター 麻酔科医師 齊藤智彦 長崎大学医学部 理学療法学科教授 千住秀昭	岡山市 きらめきプラザ

※研修は、研修会の際のアンケートを参考に委員会にて計画立案させていただいております。  
 ※都合により、日程・内容等変更がある場合がございますのでご容赦ください。  
 ※1月～3月中に管理者会議を開催します。内容等は検討中です。

# ステーションからのリレーだより

## 「その人らしく生きるとは…」

あしもり訪問看護ステーション 管理者 丹下 恵子

訪問看護という仕事が好きな理由として、「病院よりも患者ご本人やご家族の思いを聴きながら、寄り添っていける」ということがよく挙げられます。在宅でしかできないその人らしい生き方とは…。医療サイドの人間としてどこまで寄り添っていけるのか、その限界について考えさせられる経験を今しています。

70歳代、女性。パーキンソン病（YahrV）で春先に誤嚥を起こし胃管が挿入された状態となり、最終的に胃瘻造設となりました。認知度はクリアですが、寝たきり度はB2～C1です。主治医からは絶飲食の指示が出ていますが、ご本人はどうしても食べたくて納得できず、家族と話し合われて毎日1回プリンだけを食べる生活です。

でも他にも食べたいものはたくさんあって、主治医に相談もされますが許可は出ません。ご本人は「胃瘻からミルクを入れられるだけで口からは好きな物も食べられない。私は何のために生きているのか…。今のままでは私以外の人のために生かされているだけ、私は私のために生きたい。食べたい物を食べることができたなら、たとえ不幸な結果を招いても本望です。誰を恨むつもりもない。」と訴えられます。認知度はクリアであり、自分の状態はよくわかっていらっしゃるのです。ご家族もある程度までは妥協していますが、命に係わることになると思見も変わってきます。ご本人の気持ち

もよくわかる反面、介護するご家族の気持ちを思うと、私たち看護師は医療者としてどこまでご本人に寄り添うことができるでしょうか…。すぐに出る答えではないし、時間をかけた話し合いをしても納得のいく答えは出ないかもしれません。その人らしく生きる…でもその人の周りにいる家族の思いにも添っていく…かなり深い問題ですが、よく考えながらこのご本人、ご家族に向き合っていきたいと思います。

## 「訪問看護師養成講習会に参加して」

よつ葉訪問看護ステーション 管理者 亀竹みどり

毎日、利用者様と喜怒哀楽の日々を過ごされていることと思います。利用者様の笑顔に励まされ、「頼りにしてるよ」のお言葉に自己研鑽しなければと思い、この春訪問看護師養成講習会を受講しました。

なんと楽しい日々だったことでしょう。受講生みんな真剣に自分の思いを伝えあい、疑問は必ず解決する姿勢で受講しました。知識と技術の習得はもちろん、受講生同士の繋がりを得ることができました。講習会で得られた様々なことを大切に、利用者様ご家族様の笑顔のために今後も頑張ります。

この講習会で出会えた皆さんありがとう、これからもよろしく願います。

まだ、受講されていない方も受講されてはいかがですか？

## 利用者の声

倉敷しげい訪問看護ステーション

当ステーションでは毎年満足度調査を行っております。訪問看護が利用者様の意向に沿う内容になっているか、満足いただける看護を提供しているか、アンケートを通して利用者様の声をひろってみました。

- \* 皆さんに話相手になってもらって、ストレスを発散できるので助かっています。
- \* いつも訪問してくれた後は、本人が「親切にしてくれた！」と言っていました。ありがとうございました。
- \* 身体がかゆくてこままっているので、毎日温かいタオルでいねいに身体を拭いてくれてありがたいことです。誰もしてくれません。
- \* 入院中よりは1対1の世話をしてもらえるので良い。家庭での状況をはっきり目にされるのですから、本人に添う声掛けをして励ましてほめてやってもらいたい。
- \* いろいろな面において良くして下さり感謝しています。今後ともよろしく願います。
- \* 処置や手当について手際よく行ってくれるので安心です。人にもよりますが・・・。
- \* 入院中より家に来ていただいた方が、本人の思いに沿ってやさしく対応してくれることがよくわかり、利用してよかった。
- \* 日中は1人なので家族としては訪問看護にきてくれ、緊急時もいつでも対応してくれるので安心です。

などお褒めの言葉と同時に厳しいご指導の声も聞かれました。看護師一同更なる研鑽をつみ、利用者様、ご家族様に満足いただける看護が提供できるよう努めていきたいと思ひます。

## 「生活機能を維持するための フィジカルアセスメント」に参加して

みつ訪問看護ステーション看護協会  
管理者 江田純子

7月11日に、岡山中央病院・セントラルクリニック伊島神経内科林泰明先生から「廃用症候群を予防し生活機能を維持するためのフィジカルアセスメント」を学びました。訪問看護サービスを提供するとき、利用者の健康の状況の違いにかかわらず生活機能を維持するためには、利用者の良い面やできることに目を向けた支援がとても大切であると日々考えています。以前からフィジカルアセスメントに関心を持っていましたが、なかなか「療養上の世話」に関連するフィジカルアセスメントを学ぶ機会がありませんでした。今回、生活機能を維持することに関連した身体機能を系統的に観察し、アセスメントする方法を学びました。林先生の講義を拝聴しながら、利用者の言動や援助の方向性や具体的な援助方法などを振り返り、観察内容や方法が適切であったか考えることができました。今後、利用者の生活や健康の状況に合った援助を通して、心身の廃用症候群を予防するために今回の学びを活かしたいと思います。

## 「管理者の自己改造セミナー」に参加して

訪問看護ステーション ママック  
管理者 白神 恵

今までスタッフの人材育成等の研修に参加した事はありませんでしたが、今回のような研修への参加は初めてで、とても新鮮な気持ちでした。また講師の角田先生はポジティブな思考、かつ発想豊かでとても素敵なお方でした。

訪問看護ステーションの経営は、人件費以上の仕事をする訪問看護師が鍵で、よいスタッフのよい看護から収入が得られる。そしてよいスタッフに変えるには、管理者が先に変わる。それには管理者自身の自己評価及び他者評価を行う必要がある事。そして評価とは、さらに成長できるところを探す事等お話下さいました。

また居宅管理指導についても、取り組み方や、医師への交渉の仕方、コミュニケーションのとり方を助言下さいました。

今回の研修に参加して、管理者としてどうあるべきか自分自身を振り返る大変よい機会となりました。そして出来ることから実践してみようと思いました。



今年度は、私達が研修委員をつとめさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

## 「全国訪問看護事業協会・ 都道府県連絡協議会」に出席して

訪問看護ステーションこだま 管理者 新田栄子  
井原医師会訪問看護ステーション 管理者 吉貫久美子

平成21年6月23日、全社連研修センター（東京）において標記会議が開催されました。総会の冒頭のご挨拶では日本看護協会、日本訪問看護振興財団、全国訪問看護事業協会の三団体で平成22年度診療報酬改定に向け重点要望、

①頻回な訪問看護に対する回数制限の廃止  
②医療保険適用のショートステイ「在宅療養支援ステーション」の創設

③医療保険と介護保険の整合性を図るの三項目を決めたこと、平成21年度から「訪問看護支援事業」が始まることなど紹介されました。議事については事業報告、決算報告、役員員の辞任・選任すべて了承されました。

総会に引き続いて平成20年度に行われた「精神障害者の円滑な地域移行のための地域体制整備に関する調査研究事業」「相談支援の機能強化を図るための調査研究事業」「これからの訪問看護について～全国訪問看護事業協会の取り組み」が報告されました。

午後からの都道府県訪問看護ステーション連絡協議会では「訪問看護支援事業」や「訪問看護10ヶ年戦略」に関する活発な意見交換が行われました。

初めて、この通常総会、都道府県連絡協議会に参加させていただき、三団体・各都道府県連絡協議会の活発な活動を知ることができました。訪問看護のシェアの拡大の為に

秋田県ではラジオ放送で訪問看護のPRをしたり、神奈川県では訪問看護のQ&Aの冊子を作成し関係職種に配布したりと独自の取り組みを知りました。また、厚生労働省の職員も訪問看護の需要拡大につながるように予算の計上等ご尽力くださっていることが理解できました。訪問看護支援事業、10ヶ年戦略なども詳しく聞くことができ、残り多い時間となりました。今後、他県のパワーあふれる意見を参考にしながら、岡山県の連絡協議会がより発展できるよう、理事として努力していきたいと思ひます。参加させていただきありがとうございました。

## 第1回中四国訪問看護ステーション連絡協議会 情報交換会の開催について

去る8月8日中四国9県の訪問看護ステーション連絡協議会の会長他、役員の出席のもと情報交換会を開催しました。各県の訪問看護ステーションの実情と抱えている問題や課題・訪問看護事業について紹介があり、県によっては事業内容、その他会費等にも違いはありましたが、協議会としての抱えている問題点など共通点もあり、第1回の情報交換会として大変有意義な会であったと思ひます。今後も訪問看護事業推進のためにこのような交換会を開催することを約束して解散しました。

## プロトコールの活用について(経緯～活用まで)

倉敷中央訪問看護ステーション  
管理者 柴田由美子

平成16年に厚生労働省が訪問看護の推進に寄与することを目的に「訪問看護推進事業実施要綱」を制定したことを受けて岡山県もがん及び終末期医療に対応するために平成18年度「岡山県在宅ケア推進事業」を行なうことになり3年計画で企画・実施をしてまいりました。平成18年度で訪問看護ステーションと医療機関に「がん末期患者の在宅ホスピスケア」のアンケートを実施し、平成19・20年度はこの結果を踏まえ事例をもとに退院前・退院後に分けて経時的にプロトコールを作成いたしました。退院前プロトコールは、切れ目のない継続医療を行うため必要な情報をチェック方式にしていますので、病棟の看護師やMSWの方などにも事前に記入していただくと退院カンファレンスの時に分りやすいと思います。退院時プロトコールも医療行為のほか、臨死期の心の準備、死亡直前の訪問や、死亡時の対応・死別期の家族への援助などあげておりますので参考にさせていただければと思います。プロトコールは、これから使用していただいて修正を加えてより使いやすいものにしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ご要り用のステーションは、看護協会までご連絡を下さい(担当者 植田祥子)



### 事務局より

#### — 訪問看護ステーションの実態調査のお願い —

いつも連絡協議会活動へのご協力ありがとうございます。おかげさまで連絡協議会も様々な方面でご活用頂けるようになってきています。

利用者はじめケアマネジャー・病院・看護学校からのステーションの所在およびサービス内容等について問い合わせがあります。

連絡協議会が皆様と他職の方や利用者とのよりよいかけ橋となれるよう、ステーションの実態調査を行いたいと思います。お手数をおかけしますが、ご協力よろしくお願い致します。

調査は10月初旬に行う予定です。

### ウイズフェスティバル2009

#### 『家庭における介護の方法』

～着替え・体の動かし方・体の拭き方・おむつ交換の方法等～

講師 みつ訪問看護ステーション看護協会  
管理者 江田 純子

日時：平成21年11月13日(金) 10:00～12:00

場所：きらめきプラザ6階ウイズセンター会議室

対象：在宅での介護を学びたい方

昨年度に引き続き、ウイズセンター登録  
団体事業として講演会を開催いたします  
ので、どうぞご参加ください。

### 広報委員からのお願い

皆様訪問看護ステーション連絡協議会ホームページを開いたことがありますか？

今回岡山県連絡協議会に入会しているステーションに、会員専用ホームページマニュアルと各ステーションのユーザーID、パスワードを郵送いたしました。会員以外は覗くことができません。何でもお気軽に投稿して会員同士の交流を深めたいと思います。

皆様是非会員ホームページを「お気に入り」に入れて、覗いてみてください。

まだPC用のメールアドレスの登録をされていないステーションは、事務局までご連絡下さい。

### 編集後記

今年の梅雨は例年になく長く、美作をはじめ全国で大変な被害でした。謹んでお見舞い申し上げます。

季節も変わり、新型インフルエンザの猛威が心配されています。利用者様の体調をはじめ日々忙しくされている皆様も健康管理に気を付けて、頑張っていきましょう。



広報委員一同